

製品名: フォセインウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16082**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	MOB4 MOB4; MOB3; MOBKL3; PHOCN; PREI3; CGI-95; MOB-like protein phocein; 2C4D; Class II
別名	mMOB1; Mob1 homolog 3; Mob3; Mps one binder kinase activator-like 3; Preimplantation protein 3
遺伝子 ID	25843.0
SwissProt ID	Q9Y3A3
免疫原	抗血清はヒト MOBL3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

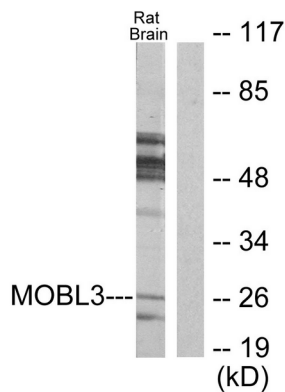
背景

この遺伝子は、マウスの対応遺伝子との類似性に基づいて同定されました。マウスの対応遺伝子を用いた研究では、この遺伝子の発現は、接合子遺伝子の活性化に続く卵母細胞成熟期および着床前期に制御されている可能性が示唆されています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。この遺伝子座と隣接する HSPE1 遺伝子座の間では、自然発生的なリードスルー転写が起こります。[RefSeq 提供、2011年2月],PTM: セリン残基がリン酸化されています。、類似性: MOB1/phocein ファミリーに属します。、細胞内局在: 核周縁の点状パターンで存在します。膜およびゴルジ体スタックと関連しています。、サブユニット: STRN4 に結合します (類似性による)。STRN および STRN3 に結合します。MOBK13、STRN、および / または STRN3 と PPA2 を含む三元複合体の一部です。、

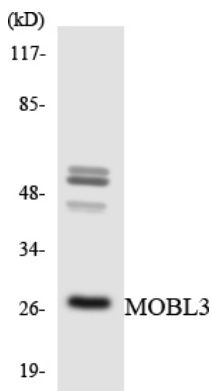
研究分野

-

画像データ



MOBL3 抗体を用いたラット脳細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MOBL3 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。